

チェロとバンドネオン

トツプランナーの共演

Dai Miyata

宮田 大

スペシャル・デュオリサイタル

Special Duo Recital

Kazuma Miura

三浦一馬


©日本コロムビア

©Toshinori Iida

2023

3月21日(火・祝)

14:00開演(13:15開場)

 荘銀タクト鶴岡 大ホール

Program

J.S. バッハ：ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ BWV1027 第1楽章

ヘンデル：「リナルド」～涙の流れるままに

バルトーク：ルーマニア民俗舞曲

ガルデル：わが懐かしのブエノスアイレス

ピアソラ：リベルタンゴ ほか

※演奏曲目は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

チケット料金（全席指定・税込）

《一般》S席 5,000円 / A席 4,000円 《学生》S席 3,000円 / A席 2,000円 (25歳以下・要学生証)

※未就学児入場不可。託児サービスがあります(有料・先着順・チケット購入確定後、公演2週間前まで要お申込み)。

※車椅子席・学生席をご希望の方は申込みの際にその旨をお伝えください。 ※当日券は500円増し。

チケット販売

《市民先行エントリー》2022年12月4日(日)10:00～11日(日)19:00

※荘銀タクト鶴岡公式ホームページでのインターネット申込みのみ。(インターネット環境がない方は荘銀タクト鶴岡へお問い合わせください)

※申込み多数の場合は抽選。当落結果はメールでお知らせします。※引換え期間：12月19日(月)～27日(火)

※お一人様4枚まで。 ※座席の指定、チケット購入後のキャンセル・変更はできません。

《一般販売》2023年1月7日(土)10:00～

1. 荘銀タクト鶴岡 公式ホームページ

※座席指定不可。予約日から2週間以内に荘銀タクト鶴岡窓口で引換え(クレジットカード不可)、または代金引換で郵送(手数料600円)。

2. 荘銀タクト鶴岡 窓口販売 ※座席指定可。 3. BookCity とみや(庄内町)、みずほ八文字屋(酒田市) ※座席指定可。

名実ともに日本を代表するふたりの奏者。

チェロとバンドネオンの美しい共鳴をお楽しみください。

宮田 大(チェロ) Dai Miyata/Cello



©日本コロムビア

2009年ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。

スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。

チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京クワルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガボール・タカーチ=ナジの各氏に師事する。

マスメディアでも「小澤征爾さんと音楽で語った日～チェリスト・宮田大・25歳～」 「題名のない音楽会」 「徹子の部屋」 「クラシックTV」 などへ出演している。

録音活動も活発で、最新アルバムは2022年10月に『ラファミノフ：チェロ・ソナタ』をリリース。2019年はトーマス・ダウソゴ指揮、BBCスコッティッシュ交響楽団との共演による「エルガー：チェロ協奏曲」をリリース。欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」において、コンチェルト部門(チェロ)で受賞。そのほか「Piazzolla」「Travelogue」などをリリース。

近年は国際コンクールでの審査員や、2019年ロームミュージックセミナーの講師を務めるなど、若手の育成にも力を入れている。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A. ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。

三浦 一馬(バンドネオン) Kazuma Miura/Bandoneon



©Toshinori Iida

1990年生まれ。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。

2008年10月、イタリアのカステルフィダルドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。

2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。

2014年度出光音楽賞受賞。既成の概念にとらわれない意欲的な取り組みや、バンドネオンの可能性を追求する真摯かつ精力的な活動ぶりが2010年9月NHK「トップランナー」に取り上げられる。

2016年はデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でバカロフの「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

2017年、ドイツにてドグマ・チェンバーオーケストラとマルコーニ作曲の「カーメラタンゴス」で共演。また自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を新たに結成し、さらなる活動の場を拓いている。

2021年、ピアソラ生誕100年に合わせて、東京グランド・ソロイストとしての初音源・最新盤「ブエノスアイレス午前零時」をリリース、同時にピアソライヤーを記念した全国ツアー公演の開催。

また、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。

使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。

【ご来場のお客様へ お願いとお知らせ】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
マスクの着用や検温などにご協力とご理解をお願い申し上げます。

詳しくは荘銀タクト鶴岡公式HPより
「荘銀タクト鶴岡にご来館の皆様へ」をご確認ください。⇒



館内ではマスクの着用を
お願いします。



入館の際は検温に
ご協力ください。



こまめな手指消毒に
ご協力ください。

